臺灣日日新報（夕刊）
昭和十一年七月十九日
第一部一万三千三十四號
定價金拾錢
臺灣人行
日刊四號市北
社松新日日新報
所行發
フンタス
日本人
克伊肉本舗

獨、墺、伊間に三ケ國協定か

宛然大戰前の情勢

【ロンドン十八日發同盟】獨逸、伊太利、墺太利三國間に協定成立の噂が傳へられ獨墺が接近し墺伊が接近し獨伊が接近するなど噂が噂を呼んでゐるがイタリー外務省筋の觀測を綜合してゐるがイタリー外務省筋の觀測を綜合してゐるがイタリー外務省筋の觀測を綜合して

躍進日本の詩

愈よ來秋竣功する 世界一の大アンテナ

鉄一本に至るまで國產品で 川口市(埼玉縣)に建設

【東京八日發本社電】世界各國と無線電話で結ばれた日本に、又一つ増える世界一の大アンテナ――それは埼玉縣川口市に世界最大級のパリのエッフェル塔を凌ぐこと二十米と云ふアンテナが建つ、日本放送協會の百五十粁大型放送局(第一第二放送用の二つ)は東京廣尾に建設中だが、これが完成すれば東洋一の放送局が出來る、完成すればアンテナを何うするかに關しては地域國でおり斷然國產でやるだけにその設計は、合理且つ經濟的となり「鉄で國產品で」と言ふ放送當局の意氣込みが伺はれる、既報の如く埼玉縣川口市に建設中の日本放送協會第二放送所(第一第二放送用の二つ)は東京廣尾に建設中の日本放送協會の百五十粁大型放送局が出來た、完成すれば東洋一の放送局が出來ても

紙衣祖師 (153)

吉川英治作　山村耕花畫

越路篇

春は南へ (五)

いましたが、ほんの風邪くらいな錯覚で、ついうっかりと、お見舞いにも行かずにおりました。——その御報知が、まさか、こんな重態とは、夢にも思いませんでした。

——と、西郷は、沈痛、丁寧などの人たちへ、頭を下げていた。

——いや……

と、かすかに瞼を横へ、振って、かぶりをふった。

小谷のおわれに、この報知の告げたとへバ、裂きになるとも、父御は止めまいと仰せられた——彼のお気に、もう一度と聞かれぬことになったのぢや。——その京都に行ったのしみあってきようそこの上は、御葬儀はもう一日後にいたしませぬ。ああ、辱くて、うすい現世の御縁であった。」

「小谷さん、お気の毒ながら、御葬儀のご相談は、お帰りになってからにしてください。——ここは、大事法戦線には、目下の一大事なのですから」

と、鬼王団たちは、初めて、安西の死を悲しむ来たものであることを知った。

明智房は、「ここは、ここは」と、お病床におつき遊ばしたのは、ちゃうど正月一日ごさいた面をさに上げてみた。

顔こそ、涙が、松は鳴つてゐた。つき上げて胸にせまるものが、容易に心を落ち着けさせなかった。

同時に、大事法戦という中心の目標を失つた都の公卿者たちのなしみや悲嘆や、あらゆる問題も彼の眼にはありくと映つてくる。

明智房は、膝をすすめ、

「さだめし、御落胆もあらうこと安西殿の御死も申されてをりました。じかし、ここで、安閑門の浮沈、折角、御大祖の天恩が下つたと思へばこの悲報に、人々は、暗黒の中に、迷ひ惑ひをしてをりますると、おつかれもごさりませう。定めし、お力落しでもございませうが、何とぞ、一報もはやく京都へお出し下さいますよう、私からも、お願ひ申しまするどうぞ皆様にも、共々御の御男を御覧まし下さつて、お慰さ下さいますやうに」

と、西郷は、沈痛、丁寧などの人たちへ、頭を下げていた。

——が、親衛は、

「いや……」

と、かすかに瞼を横へ、振って、かぶりをふった。

小谷のおわれに、この報知の告げたとへバ、裂きになるとも、父御は止めまいと仰せられた——彼のお気に、もう一度と聞かれぬことになったのぢや。——その京都に行ったのしみあってきようそこの上は、御葬儀はもう一日後にいたしませぬ。ああ、辱くて、うすい現世の御縁であった。」

「……お言葉はさる事ながら、御勅使のご一行におかれましても、おつかいの公卿の上にお疲れ遊ばしてからお休みなされた事が、せめてもの事でございました」

明智房のことばには、さすがに、大事法戦線には、目下の一大事なのですから」

と、鬼王団たちは、初めて、安西の死を悲しんで来たものであることを知った。

明智房は、「ここは、ここは」と、お病床におつき遊ばしたのは、ちゃうど正月一日ごさいた面をさに上げてみた。

顔こそ、涙が、松は鳴つてゐた。つき上げて胸にせまるものが、容易に心を落ち着けさせなかった。

同時に、大事法戦という中心の目標を失つた都の公卿者たちのなしみや悲嘆や、あらゆる問題も彼の眼にはありくと映つてくる。

明智房は、膝をすすめ、

「さだめし、御落胆もあらうこと安西殿の御死も申されてをりました。じかし、ここで、安閑門の浮沈、折角、御大祖の天恩が下つたと思へばこの悲報に、人々は、暗黒の中に、迷ひ惑ひをしてをりますると、おつかれもごさりませう。定めし、お力落しでもございませうが、何とぞ、一報もはやく京都へお出し下さいますよう、私からも、お願ひ申しまするどうぞ皆様にも、共々御の御男を御覧まし下さつて、お慰さ下さいますやうに」

と、西郷は、沈痛、丁寧などの人たちへ、頭を下げていた。

——が、親衛は、

「いや……」

と、かすかに瞼を横へ、振って、かぶりをふった。

小谷のおわれに、この報知の告げたとへバ、裂きになるとも、父御は止めまいと仰せられた——彼のお気に、もう一度と聞かれぬことになったのぢや。——その京都に行ったのしみあってきようそこの上は、御葬儀はもう一日後にいたしませぬ。ああ、辱くて、うすい現世の御縁であった。」

「小谷さん、お気の毒ながら、御勅使のご一行におかれましても、おつかいの公卿の上にお疲れ遊ばしてからお休みなされた事が、せめてもの事でございました」

明智房のことばには、さすがに、大事法戦線には、目下の一大事なのですから」

と、鬼王団たちは、初めて、安西の死を悲しんで来たものであることを知った。

明智房は、「ここは、ここは」と、お病床におつき遊ばしたのは、ちゃうど正月一日ごさいた面をさに上げてみた。

顔こそ、涙が、松は鳴つてゐた。つき上げて胸にせまるものが、容易に心を落ち着けさせなかった。

同時に、大事法戦という中心の目標を失つた都の公卿者たちのなしみや悲嘆や、あらゆる問題も彼の眼にはありくと映つてくる。

明智房は、膝をすすめ、

「さだめし、御落胆もあらうこと安西殿の御死も申されてをりました。じかし、ここで、安閑門の浮沈、折角、御大祖の天恩が下つたと思へばこの悲報に、人々は、暗黒の中に、迷ひ惑ひをしてをりますると、おつかれもごさりませう。定めし、お力落しでもございませうが、何とぞ、一報もはやく京都へお出し下さいますよう、私からも、お願ひ申しまするどうぞ皆様にも、共々御の御男を御覧まし下さつて、お慰さ下さいますやうに」

と、西郷は、沈痛、丁寧などの人たちへ、頭を下げていた。

——が、親衛は、

「いや……」

と、かすかに瞼を横へ、振って、かぶりをふった。

小谷のおわれに、この報知の告げたとへバ、裂きになるとも、父御は止めまいと仰せられた——彼のお気に、もう一度と聞かれぬことになったのぢや。——その京都に行ったのしみあってきようそこの上は、御葬儀はもう一日後にいたしませぬ。ああ、辱くて、うすい現世の御縁であった。」

今週の映畫

ゲーリー・クーパーの永遠に愛せよ

新世界館で上映中

▲場一里目て、大作で遊んだ幼馴染の二人の子供、男の子は母の死で両親の許に引取られる。噴嘩し乍らも、幼ない心の底にしつかりと結びついた言ひ知れぬ「こころ」。幼馴染の假出はその人の一生を支配するものです——子供を裏切られるまに別れ行く二人の子を哀れと思つた女の子は母とめたけれど、その言葉の如く人は一生を蓋なしにした

▲人生の岩に立つた二人が偶然相知つたとき、女は伯爵夫人幼馴染の假出に胸は晶ると二人を、邪まに誤解して刺殺んとした伯爵のピストルは伯爵自ら殺した。地位は、際殺は、一人に不利。男は一生を後悔の下に暮す運命におちて悲劇の人の世界を断ち切ることが出来ず

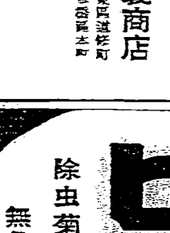
▲死ぬさへも打解け得ぬあの大なる憧び焼蕊なる男、生き通したその悲愴な心情。ゲーリー・クーパーとアン・ハーディング主演のロマンテリックな音楽と初夏の映畫。

▲ジョージ・ラフトの「モダン

ことでおろう

ちなみにこの一行は元山本営業部の福上三吉氏の還暦祝賀記念旅行で設題目の豆撒もさや大家的な催し、御祝金を贈呈して昔ら、師上演プログラムはたの通り賑やかなものである

△谷野政子子（園家令子、旭眞丸）△田邊澄子（花房貴弟子、花房小三郎）△藤元美子（花の家美吉男羽五三）△藤元美子（花の家美吉男羽五三）△吉野鶴（ヤヤリ、



八木節宗家瀬込源太

鶴賀萬龍

名家敗退將棋 (六)

七段△溝呂木光治　六段▲寺田梅吉

▲寺田氏(持駒)　角　歩銀

△溝呂木七段曰く　八四龍はゆっくりしてゐれば龍が逃げないので龍が攻めに利きそうに思ひました

▲寺田六段曰く　六四歩は五四角と打つて決戦したければ最初が生じるので緩々苦境となりませう

△溝呂木七段曰く　八二玉は他に手がない馬が差してゐるとは言へ駒得が大きいので攻付けられても凌げます四三角に先に金を失うては、いけないので止むを得ません初から駒得をするに限ります

▲寺田六段曰く　五四銀打は角を得るが駒得をしたければ問題にならぬ四四角と自ても実際駒損となつてゐるのが著いてゐる

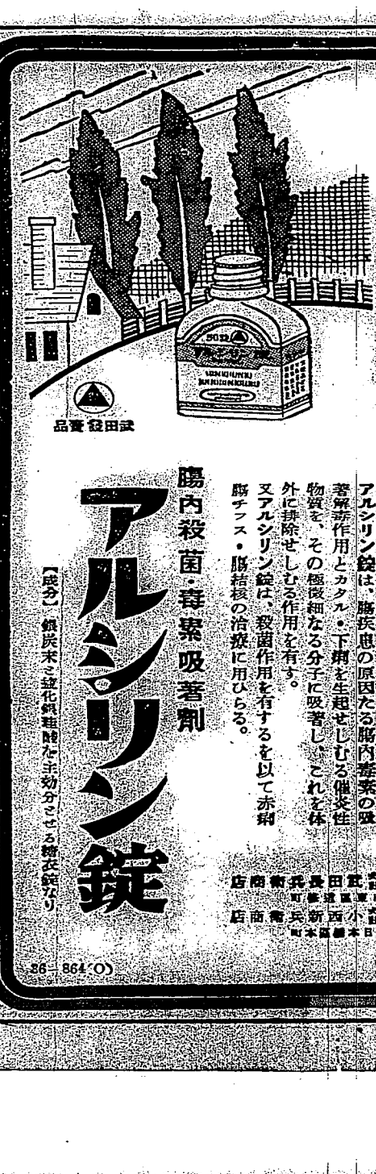
◇大崎八段講評　寺田君の六四歩と利かして四五角の筋に殺着を求めた手法ゐる感じますが自重して二枚目の歩を待つてゐる溝呂木君の四三角打の受けに対して大駒を捨てる決意でゐるが其の方に利かず五四銀打ちと打つて来る者に敵しくべきである

△四四龍▲六四歩△同歩▲五四角△八二玉▲三二角なる△同金▲四一龍△四二角▲五四銀

羽衣家敬子

テンュウ△少女歌劇（初雪家ポテル、テンプル久子）△歌謡曲（鶴賀萬龍）△歌謡浪子（花房貴久義、花房貴美）△八尺八琴奏（山中司水△女歌浪子、鶴賀萬龍）△ハイクラス浪子（羽衣家敬子、羽衣家敬子）△三味作所作事（鶴賀萬龍、鶴賀萬龍）△舞作浪子（鶴賀萬龍）△八尺八琴奏（山中司水）△女歌浪子（羽衣家敬子）△三味自重して二枚目の歩を待つてゐる溝呂木君の四三角打の受けに対して大駒を捨てる決意でゐるが其の方に利かず五四銀打ちと打つて来る者に敵しくべきである

家庭用
ピレキラ
除虫菊抽出殺虫液
無色透明、汚點附かず
殺虫を
せよ！
防虫香水　此の一滴！　安眠確實
インセキル
香りがよくて、虫寄らず
のみも南京虫も寄り附きません
寝室に　食卓に
お召物に　居間に
化粧に　風呂に
大正かとり線香
蚊とりで大好きゃめ一番
いちかめ
三笠松



●甚！　食けつづけ　ノーシン　のんで　勝ちつづけ●
下痢
腸内異常醗酵
不良食餌中毒
急・慢性腸カタル
【成分】
【効能】
【用法】
【容量】
アルシリン錠は、腸疾患の原因たる腸内毒素の吸着解毒作用とカタル・下痢を生起せしむる催炎性物質を、その極微細なる分子に吸着し、これを体外に排除せしむる作用を有す。又アルシリン錠は、殺菌作用を有するを以て赤痢腸チフス・腸結核の治療に用ひらる。
腸内殺菌・毒素吸著劑
アルシリン錠
【成分】　【効能】　【用法】　【容量】
(三〇錠入(二錠)　三〇錠入(二錠)　三〇錠入(二錠)　三〇錠入(二錠)
店舗新兵庫区元町通三丁目　製造元　安田武雄
店舗兵庫区新開地通三丁目　製造元　小西武雄

介紹刊新
◆支那研究論叢(政治篇)　山口縣一郎著　一九二一年五月の時より今日に至るまで頭州や支那について研究を續けるの著者の政治經濟する研究論文を集めたもので「支那に過敏されて支那にかけ資本と經驗の證明」他十四篇を收めてある。それぞれ各篇は「國民」「國際問題」「世界の動き」「大陸」「滿蒙」「支那」「政治」「經濟」「社會」「文化」「思想」「雜」の十四部に分類されたもの、從つてところが多いが四六判總一二六頁定價一圓　新生堂町四八二番地ビル發行
◆歐古の唄(平野晉吉著)　先年頭州に遊んだ著者の實感もので「著者の唄」「北京の唄」「北京の唄」「天津の唄」「天津の唄」「天津

維持各國民生存權（一）
提唱其宗旨於世界
我國際紛爭對策根本決定

東京九日電。外務省。蔡公使。在市內要所揭揚大國旗六對。各映畫館無料公開。各浴場開放。在市內十三處設置臨時休憩所。及矢內所。在第二小學校。雨天體操場開催。陳列會。開角力。柔劍道。庭球。二年生半額。三年生全部已到。而其一致之點如左。

各國共認聯盟對象神兩國措置。顯然失敗。聯盟從來不承認武力解決之既成事實。不變之原則。完全恢復。故各國之間。聯盟機構之正頻起論議。種々改革意見。且脫歐洲。外務省既設檢討。今也。歐洲狀態紛糾。各國採案中。八日午前七時頃。竟在金川縣白家店西方二五羅地點。與有力共匪三百名遭遇。直往攻擊。匪團特來迎戰。我軍到到。陷於苦戰。矢島隊長。決意至最後力戰。死以奪兵。突入匪團陣中。死闘四十分。遂擊退之東方。然方矢吹上等兵等十一名。壯烈死。負傷五名。又鈴木討伐隊。登時出動。矢島○隊。又進追擊云。

國策閣議連日續開
從實討議廿一以後
最後決定政局深刻展開

東京八日電。國策圓滿。訂來十日以後。十二日至十五日間。連日樞府。商工。內務。拓務。及陸海軍。大藏九相說明。然後閣議。財政計畫說明。此四日間。恐難遂事。結局當至來週末。而從實討論。或在二十一日閣議以後。而入討議。當者其先後緩急。成田首相。於武決方法。亦當慎重。或參酌調金局參考案。民政々友兩黨進行。恐難遂事。結局當至來週末。而從實討論。或在二十一日閣議以後。而入討議。當者其先後緩急。成田首相。於武決方法。亦當慎重。或參酌調金局參考案。民政々友兩黨進行。恐難遂事。結局當至來週末。而從實討論。或在二十一日閣議以後。而入討議。當者其先後緩急。成田首相。於武決方法。

會計年度
及曆年制
藏相約爲考慮

東京九日電。議會振興實行會。八日午後。開之議長官舍。來議院側。以會計年度變更之可能。豫算不可。問題之緩和。其他事項。同大藏當局意見。依關會計年度變更之可能。所談。英國從來總選舉。最近頻訪陳濟棠。李宗仁。白崇禧諸氏。動以南北合作。而駐華大使。亦本國政府。

矢島○隊
與三百共匪
竟以寡擊衆

廣東八日電。二中全會。近在目前。英國在外官憲。對兩廣問題。相當運動調停。據云兩派。相當運動調停。據云兩派。相當運動調停。據云兩派

臺灣日日新報
（原購配達）
日本內地各府縣一齊發行
臺灣唯一の日刊新聞
臺灣日日新報社
臺北市北門町二丁目一番地
電話（三）二七一番
振替口座臺北一二番
定價（一ヶ月）金壹圓八十錢
（一ヶ年）金二十二圓
（半ヶ年）金十一圓
（三ヶ月）金五圓五十錢
（前金）
廣告料（一行）金壹圓
（一回）金拾錢
（特別大廣告）金參圓
（一回）金壹圓五十錢
（社告）金壹圓
（一回）金拾錢
（特別大廣告）金參圓
（一回）金壹圓五十錢

臺灣日日新報

本日夕刊共二十頁
臺灣唯一の日刊新聞
臺北市北門町二丁目一番地
臺灣日日新報社
電話（三）二七一番
振替口座臺北一二番
定價（一ヶ月）金壹圓八十錢
（一ヶ年）金二十二圓
（半ヶ年）金十一圓
（三ヶ月）金五圓五十錢
（前金）
廣告料（一行）金壹圓
（一回）金拾錢
（特別大廣告）金參圓
（一回）金壹圓五十錢
（社告）金壹圓
（一回）金拾錢
（特別大廣告）金參圓
（一回）金壹圓五十錢

刀江書院

東京・神田・駿河臺三ノ六
電話神田（二）二七一八番
振替口座東京七二一八九番
（自錄進呈）

人日記

國寶刊行會

國寶の新復刻

推薦諸先生（五十音順）

十川嗣彦	大阪帝大教授	瓦井力人	九州帝大教授
辻善之助	東京帝大教授	高橋貞一	京都帝大教授
宮崎道生	東京帝大教授	藤木邦彦	東京帝大教授
和辻哲郎	東京帝大教授	黒板勝美	東京帝大教授
田中義成	東京帝大教授	清原貞雄	京都帝大教授
高柳光壽	東京帝大教授	河野省三	國學院大學教授
板木利隆	日本大學教授	折口信夫	國學院大學教授
辻善之助	東京帝大教授	宇野哲人	文學博士

發賣直前にも推薦の諸先生方から感激の嵐

日本歷史教育

中川一男著　四六判・約二百頁　定價一圓五十錢

教育の主義

有高巖著　四六判・約二百頁　定價一圓五十錢

日本歷史教育

慶大助教授　醫學博士　林巖著　四六判・美裝・三五〇頁　定價一圓八十錢

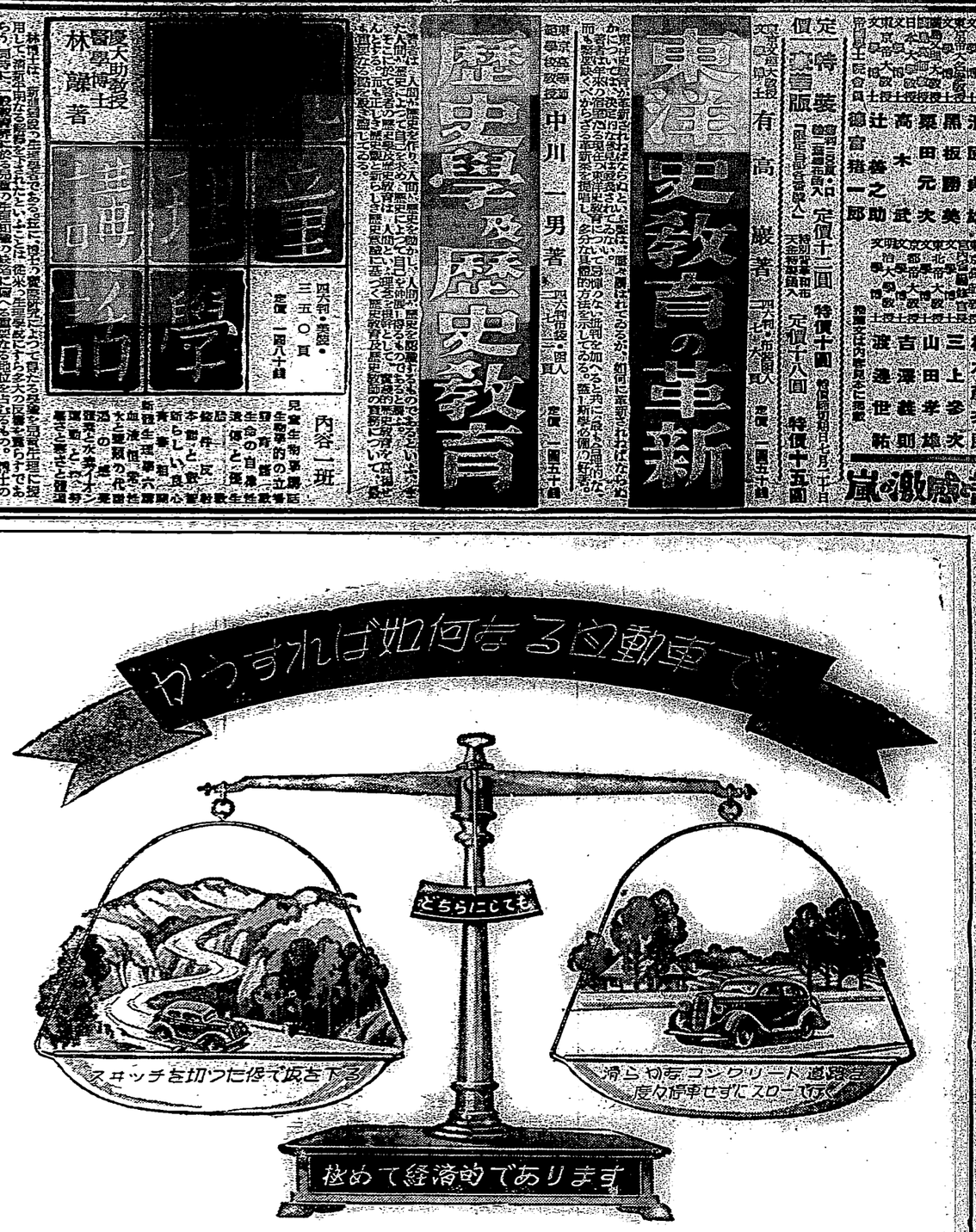
內容一斑

兒童生物學觀
生物學的の立場
教育生命の自覺
進化と退歩
發生と反射
本能と習慣
新しい良心
青年期
生理學と教育
血液循環と教育
女と體育の代償
過勞と休養
ホルモンと教育
運動と樂しさと發達

林博士は、新興國民の基礎教育たる兒童教育に現はれた缺陷を指摘されたばかりでなく、進んで兒童の生理的發育の立場より、同時に、教育學的見地より、兒童生理學と教育學との關係を論じ、兒童の心身の發達に應じた教育法を說かれたもので、現今の教育界に取り最も適切なる好參考書である。

刀江書院

東京・神田・駿河臺三ノ六
電話神田（二）二七一八番
振替口座東京七二一八九番
（自錄進呈）



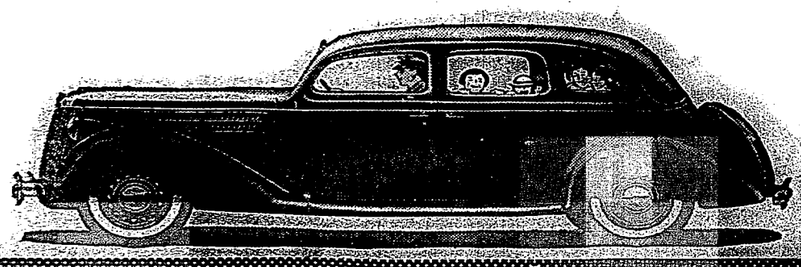
が併し……

タクシー營業者は常にこんな理想的な好狀態に惠まれながら車を操縱することは出來ません

故に大都市の車輛主各位は日々の增收の爲に場合によつては相當の無理もなさるでせう

併しながら新經濟氣化器附36年型フオードV-8は實際に使用して最も經濟的な大衆車であります。從つて同じ運轉狀態なら何時でも眞の競爭試驗に應ずる用意があります

フオードV-8は過去32年に亘る最高の工學と技術的經驗によつて生れた最高製品だけに好くバランスがとれて居り凡ゆる狀態に適します。卽ち高速を要求する國々にあつては之を與へ、又ガソリンの經濟を望まれる國々に於てはフオードV-8は夫々その要求を滿して居ります



最も經濟的な大衆車はフオード

フオード特約販賣店
日本自動車株式會社台北出張所
臺北市未廣町三ノ二

明るい印刷
明るい名刺
精美堂
電三六一七

臺灣大阪商船
●基隆廻航（ルート）
門司行　神戸行　大阪行
（直航）
（經由）
（直航）
（經由）
（直航）
（經由）

中小商工業對策を國策として復活

猛烈な非難に鑑みて
商工省、方針を改む

（二）

黄麻の增産は積極的なれ　外國黄麻輸入は國策に悖る

本島の二大動産たる米穀の自給用として關東州から移入する高粱の大量分を內地米穀に轉換し移入する粟約五六百萬圓の金額に上つてゐる點は內地より移入を絶とうとしたが、近年は內地の農業經營で關東州からの移入に頼らざるを得ない狀態に增加し一方島內の農家も段々增加してゐるので內地よりの移入が減じたことは國策實行の效果と認めたいが、尙ほ內地の農業經營の改善と島內產業開發の上からみて當然こうあらねばならぬ。

麻袋の原料には今尙內地產の黄麻のジュート袋に用ひられてゐる。原料を內地に頼らねばならぬ點は同樣加工品であつて、眞に國產とはいへないのみならず、現在國產の黄麻入れ袋の事を思へば不安だ。然るに本島にはこれが原料黄麻を植ゑることを增殖することによつて國產を增加し內地の需要額を供給し得る事實の大きい事は勿論、黄麻增殖の效果を目標とする農作の奬勵もなく至つてあらう。現在內地の黄麻使用のヒマシ油を使用しても充分行くやうに係當局に叫ぐ者もなきにあらずである。創立來一年半に滿たぬ臺灣黄麻の檢查を廢止するやうなことがあつては正に國策に悖るものと謂はねばならぬ。

豊て明治年代に國產黄麻奬勵が創立された時、その所在地たる臺灣の黄麻の栽培を奬勵しても原料の自給を目的としたものであるが、茲に相當して此の一點は始まり次第である。

增產を目標とする農作の奬勵もよいが、國策として消費の方面に於ても充分行くやうに係當局に叫ぐ者もなきにあらずである。創立來一年半に滿たぬ臺灣黄麻の檢查を廢止するやうなことがあつては正に國策に悖るものと謂はねばならぬ。

五

豊て明治年代に國產黄麻奬勵が創立された時、その所在地たる臺灣の黄麻の栽培を奬勵しても原料の自給を目的としたものであるが、茲に相當して此の一點は始まり次第である。

（東京九日發）商工省に於ては農村經濟及び農村負債整理の一方策として農村內に於ける中小商工業の振興を圖る爲め、農村內に於ける中小商工業の內容を調査し、之が振興策を樹立することゝなつたが、之が實施に當つては從來の經驗に鑑み、單に商工業者の利益のみを考へるのではなく、農村經濟の振興と相俟つて農村全體の利益增進を目標とする方針を以て臨むことゝなつた。

（東京九日發）商工省に於ては農村負債整理及び農村經濟更生の一方策として

アルコールの話（六）

中央研究所技師工業部長　加福均三（譯述）

特殊の工業用途に對しては若しメチルアルコールを以てはアルコールの代用を認められる程になつたのは一九〇一年のことで此場合には「無水アルコールとも稱し」と云ふ語が製造上慣用されて居るが、此無水アルコールは絶對アルコールとも稱し、アルコール分が百容積中九十九容積以上を含有するものを指すのである。

◇アルコールを無稅とする條件　アルコールを原料に使用した物品に對して他の物品に對比して著しい差異を與へるものであるが英國政府は試驗上の見地から製作酒精に次いで飲料となり得ない様なものをつくることを要求して居る。然るに最近化學工業に應用されて居る製造品の如きは殆んどあらゆる點に於て飲料酒精と類似するものであるから、これに對して無稅とすることは國庫の收入を減ずるものであるとの理由から、一九〇七年の豫算案に於て「無稅とする場合」と云ふ語句が削除されて仕舞つた。

◇アルコールを無稅とする條件　アルコールを原料に使用した物品に對して他の物品に對比して著しい差異を與へるものであるが英國政府は試驗上の見地から製作酒精に次いで飲料となり得ない様なものをつくることを要求して居る。然るに最近化學工業に應用されて居る製造品の如きは殆んどあらゆる點に於て飲料酒精と類似するものであるから、これに對して無稅とすることは國庫の收入を減ずるものであるとの理由から、一九〇七年の豫算案に於て「無稅とする場合」と云ふ語句が削除されて仕舞つた。

◇變性酒精は　特別な用途にのみ其使用が許可されてある。此變性の內容に其變性の

バガスを處理して無水アルコールを製造

生産費も至つて安く一瓲から一石

中央研究所が豫算要求

無水アルコールは燃料關係に其價値を發揮するところが大きいといふので各地に於て甘藷、馬鈴薯、甘藷、甜菜、穀類、糖蜜等々の原料を用ひ、盛んに研究されつゝあるが、殊に甘藷は原料として最も適當なものであるとの見地から、中研の技術部に於ては數年前から之が研究に着手し、既に數回の試驗を行ひ、其結果は頗る良好であつて、此程度迄研究が進めば、之を大規模に實施するに何等の困難もないとの確信を得たので、今回更に之を大規模に實施するに必要な豫算を計上し、目下總督府に於て審議中である。

甘藷の製造法は、先づ甘藷を洗滌して之を細斷し、之を蒸煮して糖化し、之に酵母を加へて發酵させるのであるが、此發酵液を蒸溜すれば粗製アルコールが得られる。此粗製アルコールを精製すれば無水アルコールが得られるのである。

甘藷一瓲から得られる粗製アルコールの量は、甘藷の品質、製造の方法等によつて多少の差異はあるが、平均すれば約二十四斤乃至二十五斤である。此粗製アルコールを精製して無水アルコールとするときは、其の損失を見込んで約二十斤の無水アルコールが得られる。

甘藷一瓲の價格は、平均二圓二十錢、金額にして約一圓四十錢に當るから、無水アルコール一石を製造するに要する甘藷の價格は、約二十瓲、金額にして二十八圓と見積もつても、其の生産費は二十五圓を超えないであらう。

現在に於ける無水アルコールの生産費は、四十圓にも及ぶことと稱されて居るから、之に比すれば、其の差額は實に十五圓の多きに達する。而して現在に於ける無水アルコールの年産額は、約二百萬瓲であるから、之を甘藷に換算すれば、約四千萬瓲の甘藷を要することになる。

甘藷の栽培面積は、昭和八年に於ては、約十萬甲であつたが、昭和九年には、約十二萬甲に增加し、昭和十年には、約十五萬甲に增加する豫定である。

甘藷の收穫高は、一甲當り平均二十瓲であるから、昭和十年に於ては、約三百萬瓲の收穫があるわけである。

甘藷の增産は、單に無水アルコールの製造のみならず、食用としても、又飼料としても、大いに奬勵すべきものであるから、之が增産は、極めて容易に實現し得るものと信ずる